

2011年3月16日

掛川市長 松井三郎様

浜岡原子力発電所の運転停止を中部電力に働きかけて下さるよう要望いたします

掛川市で安心して暮らせるのは掛川市長をはじめとする市職員の皆さまのご尽力によるものだと、感謝しております。

東北地方太平洋沖地震では、東北地方を中心に壊滅的な被害をもたらし、福島原発では爆発事故が起きています。亡くなられた方、被災者の方々を思うと胸が詰まる思いです。また、危険を顧みず福島原発で作業を行われている東京電力の社員をはじめとする関係者、被災者のために休みなく働らかれている行政職員の方々にはただただ頭が下がる思いです。

この緊急事態において、我々市民は、節電、寄付など被災者の方々のためにできることをし、その一方で、福島原発で起きた事故を、今後他の地域で起こさないようにすることだと思います。

東北地方太平洋沖地震はこれまで国、専門家が想定しえなかった規模の大地震と津波が発生しました。東海大地震は国、電力会社が想定している以上の規模の大きさになる可能性があります。言い換えれば、今後発生する地震の規模を予測することはできないのだと思います。そのため浜岡原発は100%安全だとは言えません。掛川市は浜岡原発がある御前崎市に隣接しており、原発事故が起きた場合、掛川市民は被ばくを免れることはできません。

日本は戦後、経済発展を遂げGDP世界第二位の経済大国になりました。昨年日本は、中国に抜かれGDPが世界第三位になり、それを残念がる風潮がありました。GDPが世界第二位でなくても、多少不便であっても、平和で心豊かに自然とともに安心して暮らせる社会を作っていくべきだと思います。

これを機に、原子力エネルギーから、安全なエネルギーへの転換を図っていく必要があると思われまます。我々市民も節電、省エネに取り組みます。

浜岡原子力発電所の運転停止を、近隣の市町とともに中部電力に働きかけて下さるようお願いいたします。

原子力発電を行う電力会社を悪者にするのではなく、行政、電力会社、市民が一体となり協力して、人々が安心して暮らしていける社会を作っていくべきです。

穏やかな気候で茶畑が美しくやさしい人々が暮らす掛川市を我々は愛しています。これからもそして東海大地震が発生しても、人々が引き続き掛川市で暮らしていけるよう、皆で努力していくべきだと思います。そのための努力は惜しみません。

松井市長、市職員の皆様のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

戸倉由紀枝

浜岡原発運転停止を求める市民有志

代表 戸倉由紀枝